
日本産業洗浄協議会 メールマガジン 第 91 号

第 91 号をお送り致します。

オミクロン株による第 6 波の新規感染者数はようやくピークを越えたようです。新規感染者数は 2020 年度初めの第 1 波から周期的に左右対称のピークを示し、しかもその大きさは急激に大きくなっています。まだわからないことが多いようですが、爆発的に増加していく新規感染者数が減少に転じるメカニズムはどのように理解したらよいのでしょうか。ワクチンが有効とは言われていますが、それだけで十分なのか心配になります。

皆様、「オミクロン株は重症化しにくい」との情報に安心することなく、くれぐれもご用心ください。

今月は、(1) トピックス:

【第 29 回洗浄大学中級講座申込受付開始】

【第 5 回洗浄技術検定結果】

【第 8 回優秀新製品賞募集開始】

(2) 連載:東西対決 JR 環状線「芦原橋駅」(ペンネーム: MJ)

(3) 投稿:『空き家』

*このメールは、日本産業洗浄協議会の各種イベントでお預かりしたメールアドレス宛にお送りしています。不要な方は、末尾にてその旨ご返信下さい。

.....
(1) トピックス
.....

【第 29 回洗浄大学中級講座申込受付開始】

洗浄大学中級講座を、添付ファイルの通り開催することといたしました。

2020 年以來、コロナ禍で対面式の講習会は見送ってきましたが、この度は定員を 22 名に絞って、下記前提で安全第一に開催いたします。

(1) 新規感染者が減少して 1 週間前にまん延防止等重点措置が解除されていること。

(2) 最少催行人数(15 名)を超えていること。

日時 : 2022 年 4 月 21 日(木) 10:00-17:00(9:30 受付開始)

場所 : 日刊工業新聞社 東京本社セミナールーム

東京都中央区日本橋小網町 14-1(住友日本橋小網町ビル)

受講料 : 一般 22,000 円/人、JICC 会員 17,600 円/人(消費税込み)

申し込み方法 : 申込書を FAX または郵送にて

日刊工業新聞社業務局イベント事業部技術セミナー係まで

日刊工業新聞社総合事業局セミナー事業部まで

日刊工業新聞のホームページからも申し込みができます。

<https://corp.nikkan.co.jp/seminars/view/5614>

【第 5 回洗浄技術検定結果】

第 5 回洗浄技術検定の結果がまとまりました。

洗浄マイスター合格者:なし

1 級合格者:8 名

2 級合格者:42 名

今回からホームページに受験番号を掲載する方式ではなく、直接合否をメール連絡致します。

【第 8 回優秀新製品賞募集開始】

日本産業洗浄協議会は産業洗浄にかかわる地球環境保護および技術振興を図り、わが国産業の発展に寄与することを目的に、2015 年から「産業洗浄優秀新製品賞」を設け、受賞された商品を表彰しております。

1. 募集対象

2018 年 4 月以降に開発・商品化された新規性・独創性に富む下記の新製品

(ア) 洗浄装置および付帯設備

(イ) 洗浄剤および洗浄にかかわる消耗品

ただし、既存の製品のデザイン、形状および名称等の変更に留まり、性能改良が伴わないものは対象外です。

2. 応募資格

日本産業洗浄協議会正会員および賛助会員

3. スケジュール

2022 年

2 月 21 日(火) 募集発表

3 月 14 日(月) 受付開始

7 月 8 日(金) 募集締切

8 月中旬(予定) 当選連絡

10 月(予定) 当選発表

10 月 19～21 日(予定) 2022 洗浄総合展にて授賞式を行います。

(2) 連載:東西対決 JR 環状線「芦原橋駅」(ペンネーム:MJ)

JR 環状線「芦原橋駅」の紹介(写真ご参照)

芦原橋駅(あしはらばしえき)は、大阪府大阪市浪速区浪速東一丁目にある、西日本旅客鉄道(JR 西日本)大阪環状線の駅です。駅番号は JR-O17、駅シンボルフラワーは「なでしこ」。



大阪環状線ホームの発車メロディは芦原橋太鼓集団「怒」の楽曲『祭』が使用されています。その理由は、当駅周辺には多くの老舗太鼓メーカーがあり、太鼓が盛んであることからです。

大阪環状線では今宮駅に次いで 2 番目に乗車人員の少ない駅ですが、日本の鉄道駅で初めて身体障害者のためのエレベーターが設置された駅でもあります。

今回は、大正駅を予定しています。お楽しみに。

(3) JICC クルーによるリレーコラム Vol.21

～『空き家』～

母が亡くなって8年、茨城県の霞ヶ浦の畔にある私の実家は空き家となっていました。築57年の空き家は雨漏りはしていないものの住むためにはかなり手を入れる必要がある状態でした。5年ほど前に地元の不動産業者に売却の意思を伝えてありましたが、一年に一度くらい興味を示した方がいるとの連絡がありましたが、そこで止まっていました。ところが昨年11月初旬に不動産業者から電話があり、購入希望者がいるとのことでした。いくつか条件はあったものの困難な条件ではなかったため即同意して、一週間後に契約の運びとなります。購入者は、現在の建屋を解体して新築するとのことでした。妻の実家を売却した時にはこちら側で解体して引き渡すという条件でしたので苦労しましたが、今回はそれが無いので解体の費用の捻出は不要でした(ラッキー!)。今年の1/31に引き渡しに向けて、家の荷物を搬出する必要があります。

敷地150坪、建坪60坪、57年の昭和の一軒家の荷物は想像を絶する量でした。地方自治体のクリーンセンター(ごみ焼却場)で粗大ごみを受け付けてくれることは知っていましたが、住民票がない人間が持参できるか心配でした。調査の結果持ち家で固定資産税の納付、住所の明示(電気、ガス料金等の領収書)をクリアしていれば可能ということで作戦開始です。私の車はワゴン車ですのでこれを使って不用品を運搬することにしました。

家族、親類縁者を動員して延べ10日間程度、クリーンセンターに50回程度通いました。布団は10人以上、食器は旅館ができるのではないかと思うくらいの量、本は段ボール30個程度、レコードはカラーボックス3個などなどほとんどを廃棄しました。また家電リサイクル法に該当するテレビ、冷蔵庫、エアコンなどとタンスなどの大型家具の廃棄は専門業者に任せました。

この話をすると、実家がなくなるのは寂しくないですか? と言われますが、住む予定のない空き家がなくなったことという安堵感が勝っていますと答えています。不用品を運搬した私の愛車(水平対抗エンジンのワゴン車)の室内は予想以上に汚れていました。専門業者に依頼して車内清掃とついでにボディコーティングを実施してピカピカになったのでした。

最後までご覧いただきありがとうございました。今後ともご愛顧のほどよろしくお願い致します。
▼<<配信停止>>をご希望の方は、お手数ですが以下をクリックし、その旨ご記入いただき送信下さい。▼

sskjicca@jicc.org

▽お送りしたこのメールは、送信専用ですのでこちらには、返信しないで下さい。▽